【Ｒ６年度】重点目標の取組・概要（みんな泳げるプロジェクト[学校体育振興事業]）

担当課（内線）	学校教育課　山本（5615）	重点目標の方向性	子どもの保育・教育環境の向上
重点目標	子育てしやすい岸和田の実現	行政の役割	運動を通した体力向上を推進する

現状と課題

市民プールの閉鎖による学校水泳授業の民間プールへの委託化を積極的に進めていく。

（また、児童生徒の体力向上に向けて、小中学校体育科実技講習会や体力向上支援委員会を引き続き実施し、スキップロープチャレンジの取組を推進しつつ、より効果的な取組の計画・実施に向けた協議を進めていく。）

Ｒ６年度の事業費（内訳）

・プールの民間委託　委託料：55,836,920円（概算）
（内訳）
①春木中学校区：9,949,170 円　②葛城中学校区：5,066,940 円
③山直中学校区：11,115,500円　④八木小学校園：5,187,110 円
⑤山滝中学校区：3,649,000 円　⑥北中学校区：10,045,200 円
⑦岸城中学校区（一部）：10,824,000 円

課題に対する取組の内容（めざす成果・期間・対象者・手法など）

【中期的(4～5年後)にめざす成果】
・水泳の学習に満足している児童生徒の割合や泳力が向上した児童生徒の割合が、令和５年度実績と比較して向上する
・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対府比が０

【成果に向けての各年度の進め方】
令和６年度に拡充（５校区+α⇒６校区+α）後、市民プールの閉鎖状況等をふまえて、必要な校区から民間委託を進めていく。

【Ｒ６年度の取組内容（期間・対象者・手法など）】
プールの委託校（区）を５校区+αから６校区+α（校区内幼・小含む）に拡大する。
・北中学校区、山滝中学校区（R4～）
・春木中学校区・葛城中学校区・山直中学校区・八木小学校園（R5～）
・岸城中学校区（うち岸城中、城内小、東光小、岸城幼）（R6～）

Ｒ７年度以降の想定事業費（ランニング経費）

・プールの民間委託
委託料：55,837千円（概算）
以降、委託拡大により増額の可能性有

取組の進捗・成果を測る指標

○水泳の学習に満足している児童生徒の割合
令和８年２月終了時点（小１～６平均）
76.3%（基準値）　➡　目標値　90.0%

○泳力が向上した児童生徒の割合
令和８年２月終了時点（小１～６平均）
53.4%（基準値）　➡　目標値　80.0%

成果・指標が未達成の場合の取扱い

・水練学校については、学校水泳事業の民間への委託が全校園に拡充した段階、または市民プールの廃止等により事業終了を検討する。

【Ｒ６年度】重点目標の取組・ロジックモデル（みんな泳げるプロジェクト[学校体育振興事業]）

ロジックモデル【事業立案時点】

【インプット】
・学校水泳授業の民間委託が必要な校区の選定

【活動】
・委託の契約
指標：相談件数

【アウトプット】
・事業開始
指標：委託数

【初期アウトカム】
・民間プール委託増
指標：委託数

指標：体力調査
【中間アウトカム】
・体力の向上
⇩
【最終アウトカム】
・教育的魅力の向上

その他（財源、他団体の状況、行政サービスとしての適正性について　など）

隣接市の状況
◆和泉市…小学校10校、中学校１校　小中学校全学年で５回×60分　将来的には全小中学校で民間委託を進める予定。
◆貝塚市…幼稚園、小学校全学年、中学校１年生（約6,000人）幼稚園２回、小学校１・２年３回、３・４年４回、５・６年５回、中学校１年２回×50分
上記に加えて夏休み補講２回×４地区。

【Ｒ６年度】重点目標の取組・評価シート①（みんな泳げるプロジェクト[学校体育振興事業]）

■ 中期的にめざす成果に対する達成度

おおむね達成

- 水泳の学習に満足している児童生徒の割合や泳力が向上した児童生徒の割合が、令和４年度実績と比較して向上する
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点が府と同等

■ Ｒ６年度における達成度（当初の実施予定に対する達成度）

達成

- 令和６年度に拡充（５校区＋α→ ６校区＋α ）した後、市民プールの閉鎖状況等をふまえて、必要な校区から民間プールへの委託化を進めていく。

■ Ｒ６年度において実施・実現できたこと

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対男子対府＋0.7ポイントと高かったが、女子対府-0.1ポイントと低い結果となった。
- 他の市民プールの老朽化より使用できなくなり、令和６年度は６校区と1小学校・園（13幼稚園・14小学校・6幼稚園）と令和５年度の（12幼稚園・12小学校・5幼稚園）から実施校園を拡充することができた。

■ 主な「取組の進捗・成果を測る指標」の状況

測定有無	指　標　名	単位	基準値（年次）	目標値（年次）	Ｒ６年度実績値
○	水泳の学習に満足している児童生徒の割合		55.8%（R5）	90.0（R8）	95.7%(R6)
○	泳力が向上したと感じた児童生徒の割合		52.8%（R5）	80.0（R8）	80.2%(R6)
○	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における小学生の体力合計点		男子対府＋0.6ポイント（R5） 女子対府＋0.7ポイント（R5）	対府＋0ポイント	男子対府＋0.7ポイント(R6) 女子対府－0.1ポイント(R6)

【Ｒ６年度】重点目標の取組・評価シート②（みんな泳げるプロジェクト[学校体育振興事業]）

■ Ｒ６年度において実施・実現できなかったこと

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点が男女とも対府＋0ポイントを目標にしている中、男子は達成できたが、女子は達成できなかった。

■ 課題分析

- 楽しい体育授業づくりを意識している中、体育の授業を楽しい・やや楽しいと感じている児童は多いが、２０ｍシャトルランなどの持続力や長座体前屈などの柔軟性などが低い結果となったことが原因と考えられる。

■ ロジックモデルの振り返り

- ロジックモデルについては現状のままで行う

■ 次年度以降の予定・改善内容

- 楽しい体育授業づくりを意識して行うことは継続しながらも持続力や柔軟力を高める指導方法を改善していく研修などをおこない、全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点が男女とも対府＋0ポイントを目標値をめざしていく。